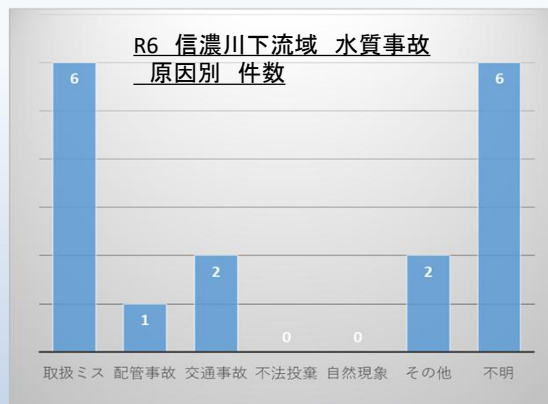
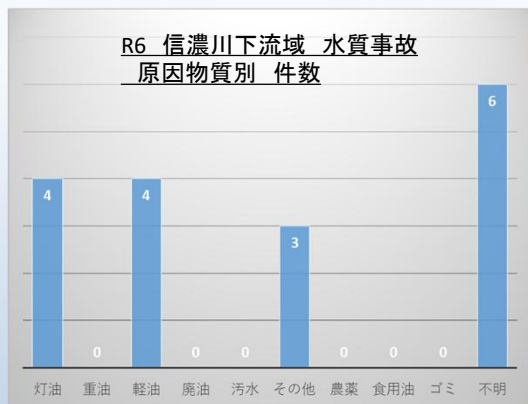


油断大敵 みんなで防ごう油の流出

～小さな油断やミスが大きな事故に～

油類や有害な物質は一度河川に流れ出ると、広い範囲で魚が死んだり水道の水が取れなくなることがあります。これを『水質事故』と言い、令和6年には新潟県内の信濃川水系の河川で49件発生しました。このうち17件は、信濃川下流域(大河津洗堰より下流の地域)で起きたものです。



油膜が確認されたものでも、その油種が特定できなかったものは「不明」として集計しています。

誤って灯油等を流してしまったり、河川や水路で油膜を発見した場合は、最寄りの消防署、市町村または県の環境センター(※)へご連絡をお願いします。

迅速な対応が被害の拡大を防ぐことに繋がります。

※ 新潟県環境センター
TEL 025-280-5157

政令市(新潟市)は県に代わり
新潟市環境対策課
TEL 025-226-1371

万が一水質事故を起こした場合、原因者にはその対策費用を求められる場合があります。**灯油等の取り扱いには十分ご注意ください。**

—— 水質事故を防ぐためのポイント 4項目 ——

- その1 給油作業中は、絶対に現場を離れない！
- その2 給油後は、忘れずにバルブをきちんと閉める
- その3 タンクや配管に破損がないか、こまめに点検を
- その4 油送設備の操作ミスに要注意 !!



オイルフェンスにより、下流に油類が流れ出るのを防いでいる様子



国土交通省北陸地方整備局
信濃川下流河川事務所